

2016年9月5日

報道機関各位

株式会社メディア総合研究所
代表取締役 江幡等

メディア総合研究所が『紫禁城の月 大清相国 清の宰相 陳廷敬』を刊行！

株式会社メディア総合研究所（本社所在地：東京都渋谷区 代表取締役社長：江幡等）の出版部門は9月4日(日)、9月10日(土)、『紫禁城の月 大清相国 清の宰相 陳廷敬』上下巻をそれぞれ刊行いたします。



『紫禁城の月』は、中国人作家で官界小説の名手といわれている、王躍文による2013年12月出版の『大清相国』を翻訳出版したものです。清の時代の実在の人物、陳廷敬が主人公である本書は、中国で記録的なベストセラーとなり、舞台化、ドラマ化、映画化が進められている作品です。舞台では満員御礼が続くほどの人気で、撮影がすでに終了しているドラマの放映が待たれているとのニュースが飛び込んできている作品です。

1. 内容紹介

・汚職はびこる朝廷に、清廉、実直、滅私奉公を貫いた1人の官僚、政治家がいた。その名は陳廷敬。本書では、スーパーエリート官僚への登竜門である科挙試験に合格後、清の康熙帝におよそ50年間仕えた実在の人物の生涯をたどる。権力闘争、腐敗、汚職に屈することなく、諫言をも憚らず、皇帝に忠義を尽くし、庶民の気持ちをも理解した「理想の官僚」、陳廷敬。劉備のような王朝の始祖でもなければ、項羽のような英雄豪傑でもない。清の“賢帝”康熙帝を育て、幾度もの浮沈を経験しながら魑魅魍魎の跋扈する官界を生き抜き、宰相までのぼりつめた男の物語。現代社会のサラリーマン必読の書です。

中国共産党中央規律検査委員会書記を2012年から務める「王岐山(おうきざん)」が薦める書籍として、雑誌等で紹介されたことがきっかけでベストセラーとなり、原書は中国で数百万部を売り上げ、今もミリオンセラーを更新中です。

2. 著者&訳者 プロフィール

・著者：王 躍文 (Wang YueWen)

1962年、湖南省瀏浦県に生まれる。大学卒業後、教員、湖南省政府、懷化市政府の職員などを経て作家に。公務員の経験を活かした作風から、当代随一の「官界小説」の名手として名高い。長編小説『国画』、『梅次故事』、『朝夕之間』、『亡魂鳥』、『蒼黄』だけでなく、短編小説、散文、随筆集など著作多数。中国本土でミリオンセラーとなった本書『大清相国(原題)』は、ドラマ化、映画化が進行中。中国作家協会会員、2016年6月より湖南省作家協会主席を務める。

・訳者：泉 京鹿 (いずみ きょうか)

1971年、東京生まれ。フェリス学院大学文学部日本文学科卒。北京大学留学、博報堂北京事務所を経て、フリーランスとしてライター、メディアコーディネーター、翻訳者として2010年

Press Release

まで16年間北京在住。大学非常勤講師。主な訳書に『兄弟』上下（文春文庫）、『恵恵一日中の海を越えた愛』（文芸春秋）ほか。

・訳者：東 紫苑（あずま しおん）

北京在住20年。昭和47年（1972）生まれ。滋賀県出身、大阪外国語大学（現・大阪大学外国語学部）中国語科卒業。在学中、北京語言大学に1年留学、卒業後、96年より寝具メーカーの北京工場に駐在。2000年よりフリーランスの通訳・翻訳者となる。週刊新聞『巨龍（チャイニーズ・ドラゴン）』に「紫禁城の恋物語」を連載（2006年—2008年）。

○取材およびこのプレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社メディア総合研究所 出版担当 TEL: 03-5414-6532

ホームページからのお問い合わせ

<https://secure.mediasoken.jp/books/contents/hp0025/index.php?CNo=25>

≪会社概要≫

会社名：株式会社メディア総合研究所

代表者：代表取締役社長 江幡等

設立日：1993年10月25日

資本金：1億円

業務内容：翻訳・通訳サービス、IT企画・開発、映像制作、出版